



「地域という大きな教科書」—高校生が“今”学ぶ、幸せのかたち—

慶進高等学校 教諭 高松祐次郎

過日、こちらに寄稿させていただいた際、挑戦はまだ道半ば。という旨述べたが、私自身も自身をアップデートしながら日々生徒や地域社会と関わりを持たせていただいている。宇部市では、地域と連携したESD(持続可能な開発のための教育)の実践が積極的に進められている。

私が高校教師として目指すのは、地域の課題を「自分ごと」として捉え、持続可能な地域社会を築く力を高校生が身につけていくことだ。

その一環として、高校生を地域活性化の担い手として位置づけ、地域から求められていることと、生徒の「やりたい!」の重なりをすり合わせながら、可能な限りの実践を行っている。たとえば、地元の商店街のカフェの隣のガレージを活用した「高校生カフェAwww:p(アウー)」では、生徒自らが企画・運営に携わり、メニューの開発から接客、広報まで、すべての工程に関わっている。実際にお客様と接することで、社会とのつながりを実感し、責任感や協働性を育み、希望進路の実現や地元への帰属意識の伸長にも繋がっている。また、地域イベントの企画運営も重要な活動の一つだ。昨年度はときわ公園にぎわい創出事業に採択され、「C-ube in はたらく車コレクション」と題し、多くの企業をお呼びして、子どもたちを対象に乗車・職業体験をするなかで、運送業界の抱える「2024年問題」と子どもたちが夢を持つためのきっかけづくりを掛け合わせた

イベントを生徒が作り上げ、大成功(当日の来場者は2243名)を収めた。こちらは、企画書の作成はもちろん、企業とのやり取りやフライヤーの作成、当日の流れやレイアウトなど、子どもたちがワクワクしながら学べる仕掛けを生徒のみでやり遂げたのである。

自分たちで作り上げるだけでなく、季節ごとのフェスティバルや、地域のお祭りなどにも高校生が主体的に関わり、地域の人々と一緒になって盛り上げている。さらに、諸施設における地域の方との交流、清掃活動などのボランティアにも積極的に参加している。

こうした活動は、高校生と地域をつなぐ架け橋となり、お互いの理解と信頼を深める機会となっている。地域の方々にとっても、高校生が自ら動き、地域の課題に向き合ってくれる姿を見ることは大きな励みであり、何よりの喜びであると考え。「高校生の成長を身近に感じられることが幸せ」と語る地域の方も多し。

活動を通じて高校生たちは、他者と協力する力、課題を発見し解決に導く力、そして多様な価値観を受け入れる力を育てていく。地域というリアルな社会を教室に見立てて、失敗を恐れず「何事もチャレンジ!」する精神で、日々挑戦を続けている。こうしたESDの実践は、地域の未来を担う人材の育成につながるとともに、私たちのまち・宇部の未来に希望の光を灯す取り組みでもあると考えている。

まちなかイベント情報 (お問い合わせは宇部市まちなか環境学習館へ)

9月20日(土) 13:30 ~ 16:30 ※開場は13:00以降
2025年度 第2回 ころを語る会 in 宇部フロンティア大学
ワークショップ 物語創作とレジリエンス
内容: 物語創作を通してレジリエンスに気づき、高める
・ 物語の創作体験を聞く
・ 写真を用いて物語を創作する
・ 互いの物語をシェアする
対象: 中学生以上



お申込みはこちら

10月12日(日) 9:00 ~ 15:00
UKC子ども学生協創プログラミング・ワークショップ
“スマートプレーファーム”
内容: 午前中 - プログラミング教室
午後 - ファーム実演交換発表
(マイコンやドローンを使い
スマート農業の課題を考え遊び学ぶ)
対象: プログラミングに興味がある小・中・高校生など
保護者やサポーターも是非どうぞ。



お申込みはこちら

※参加費無料・要申込

宇部市まちなか環境学習館 銀天エコプラザ

〒755-0045 山口県宇部市中央町二丁目11番21号

交通手段 JR宇部線:「宇部新川駅」徒歩7分

宇部市営バス:「宇部中央」徒歩3分

駐車場 無し (近隣の有料駐車場等をご利用ください)

TEL/FAX: 0836-39-8110 E-mail: ubekuru@gmail.com

開館時間 9時~17時 HPアドレス <http://ubekuru.com/>

休館日 土日・祝日、年末年始(12月29日~1月3日)



HomePage



facebook



X



NPO法人うべ環境コミュニティー

宇部ロータリークラブの活動について

宇部ロータリークラブ 2024-2025年度会長 古谷博司

1. ロータリークラブについて

国際ロータリーは1905年に米国で創立され、現在、200の国と地域に、116万人の会員、日本では全国の2203のクラブの8.5万人の会員が、お互いに信頼できる友情の構築と世界平和を目標に、自己研鑽を積みながら、職業を通じた奉仕活動に励んでいます。

宇部ロータリークラブは、1956年（昭和31年）に宇部興産（株）の俵田明、中安閑一、岡田完二郎ら37名によって、宇部で初めて創立されたロータリークラブです。現在は、宇部の経営者、政治家、金融関係者、医療関係者、教育関係者など、多彩な人材38名が会員です。宇部には他に宇部西、宇部東のロータリークラブがあります。

2. ロータリークラブの目的

ロータリーにおいては、まず職業人としての高い倫理基準を保ってその職業を高潔なものとするのが大きな目的です。このためにはロータリアンは事業または社会生活において奉仕の理念をもって喜んで地域社会で奉仕活動をするのが求められます。そして、世界的ネットワークを通じて国際理解と親善を図り、世界平和を希求します。

ロータリーで重点を置く分野は7つあります。(1) 平和構築と紛争予防、(2) 疾病予防と治療、(3) 水と衛生、(4) 母子の健康、(5) 基本的教育と識字率向上、(6) 地域社会の経済発展、(7) 環境保全です。SDGsの項目にも該当する分野です。ロータリークラブでの奉仕活動はこの重点分野に向けて実践されています。

3. 奉仕活動

ロータリーでは4つの奉仕の分野があります。

①職業奉仕、②社会奉仕、③国際奉仕、④青少年奉仕
一般的な具体的な奉仕活動としては、募金寄付活動、福祉活動や、河川や海岸や公共施設等の清掃作業、青少年留学生交換、奨学金制度などを行っています。

なお、ロータリークラブは営利と政治は関与せず、活動は会員の会費と会員個人の寄付ですべて賄われています。次に、宇部ロータリークラブでの主な奉仕活動をご紹介します。

(1) 彫刻清掃：彫刻ファンクラブ主催で市民とともに春と秋の2回、協力参加。

(2) 街頭清掃：年末の修養団主催の街なかのごみ拾い清掃に協力参加。

(3) 就職模擬面接：宇部西高校の生徒たちの就職希望先の模擬面接。

(4) うべ福祉祭りバザー出店：クラブ会員の家庭内の遊休品をバザー出店し、売り上げ全額を宇部市ボランティア連絡協議会に寄付。

(5) 世界寺子屋運動：学校の整備の遅れた発展途上国での学校づくりに役立てるためクラブ会員たちの募金を募り、毎年、宇部ユネスコ協会に寄付。

(6) ポリオ（小児麻痺）撲滅：会員の募金により発展途上国における予防ワクチン接種に協力。

(7) 米山記念奨学金：日本のロータリークラブ会員からの寄付をもとに日本で学ぶ留学生に返済不要の奨学金を支給。

(8) 宇部（内良記念）奨学金：宇部ロータリークラブ会員の寄付金をもとにして、宇部市内の高校生へ返済不要の毎月の奨学金の支給、宇部高専グローバルマイスター生徒たちへの活動の奨学金支給。

(9) 福祉関係への寄贈：クラブの予算と広島・山口ロータリー2710地区の補助金をもとに毎年、市内の福祉関係施設に、物品を寄贈。

(10) 街角イルミネーションへの助成金：宇部未来会議の若者たちが街の活性化の活動として毎年行うイルミネーションのための助成金を支給。

宇部ロータリークラブでは現在、環境改善に関する活動としては、彫刻清掃と街頭清掃活動がありますが、今後はさらに環境に関する意識を向上し、うべ環境コミュニティーとも連携を図り、活動を進めることが出来ればと考えております。

～ 地域の環境への奉仕活動 ～



①彫刻清掃 ときわ公園で



②街頭清掃 中心市街地で

